

令和2年度 事業計画 基本方針

我が国の社会情勢は、人口減少・少子高齢化の進行のもとで労働力人口が減少する中、継続雇用制度の義務化や高齢者等の雇用の安定等に関する法律、雇用保険法、派遣法等の改正、一方でライフスタイルの多様化等その変化はめまぐるしいものがあります。

このような中、高齢者が人手不足分野や現役世代を支える分野等社会の担い手として活躍できる場を提供することが社会的に求められています。シルバー人材センターはこうした社会的要請の一翼を担いつつ、高齢者が知識、経験、能力を活かして働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献することを目指し、会員自らが自主的・主体的に組織運営に参画し、そして、お互いが助け合い協力し合いながら、シルバー人材センターの理念「自主・自立、共働・共助」及び事業の根幹である「安全はすべてに優先する」のもと、地域に密着した就業を通じて、より地域社会に貢献し、より信頼を高めることを目指さなければなりません。

役職員を中心として会員の皆様が一体となり、関係機関、関係各位からのご指導と連携のもと、地域社会で高く評価される公益社団法人佐用町シルバー人材センターを目指し最善を尽くします。

会員の皆様をはじめ関係各位のより一層のご理解、ご指導、ご協力をお願いいたします。

I. 会員数の拡大

会員数の拡大は、高齢者の就業機会の拡大、生きがいの創出、地域社会の活性化を目的とするシルバー事業の根幹をなす課題です。

女性会員の拡大も、就業分野の拡大とともに重要な課題です。

1. 随時の入会説明、随時の入会受付を継続します。
2. 口コミ活動の推進により、会員・役職員が会員を増やす意識で取り組みます。
3. 女性会員の就業機会の増加が見込まれる中、女性会員の更なる入会を推進します。
4. 会員にとってより魅力あるセンターを目指し、退会の抑制を図ります。

II. 安全就業の徹底

シルバー事業の基本は「安全はすべてに優先する」です。会員一人ひとりが

自分のことと受け止めて、「自分の身は自分で守る」ということが重要です。会員の安全に対する意識を更に高め、事故ゼロ運動を強力に推進します。特に重篤事故をゼロにする強い決意で臨みます。

1. 安全は、シルバー事業の基盤であり、すべてに優先することを会員に周知徹底します。
2. 安全用具の確実な着用の徹底を図ります。
3. 安全パトロールをより強化し、事故ゼロを目指します。
4. 会員一人ひとりが安全への責任を持つという意識を醸成します。
5. 安全作業に向けた講習会を開催します。
6. 健康講座の開催、健康診断の受診勧奨等会員の健康面での支援を行います。
7. 推進員、班長、安全委員等から就業会員に、安全就業への注意喚起と情報共有を徹底します。
8. 会報、安全ニュース等を活用した周知活動を行います。
9. 安全就業推進大会を開催し安全就業第一の意識の共有を図ります。

Ⅲ. 就業機会の確保拡大と適正就業の推進

就業機会の確保拡大は、会員数の拡大とともに大切な課題です。地域のニーズに対応すべく、会員の技能知識の向上と適合する就業機会の確保に努めます。

安全・適正就業対策の推進は、会員の就業中における無事故を目指すとともに全ての業務における適正就業を推進します。

1. 口コミよる仕事の開拓にも取り組みます。
2. 派遣事業をさらに推進します。
3. ボランティア活動などを通じ、センターのPR等に努めます。
4. 適正就業ガイドラインの周知に努めます。
5. 発注者への迅速丁寧な対応を行います。
6. 受注した仕事を丁寧に仕上げます。
7. 会員の知識技能の向上に努めます。

Ⅳ. 地域内の連携強化

シルバー人材センターへの期待は大きく、地域ニーズに対応していくことが求められています。地域自治体をはじめ、地域の様々な団体等との連携が一層重要です。

1. 自治体や自治体関連団体との連絡協調に努めます。
2. 地域社会の要請に対応できる安心と信頼の事業運営に努めます。
3. 兵シ協や各センターとの連携を強化します。